

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
消費生活（商品知識） Consumer Lifu		2年	前期	金曜日・1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	講義		選択（ファッションビジネス領域科目）	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス I				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟 3F	月・水 12:30～16:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
商品の素材・品質・取り扱い・流通などの多種多様な側面を理解しておくことは、生活者としても重要である。消費者・生活者・販売員として、トラブルに巻き込まれない健やかな暮らしの知識を持つことを目指す。				
授業の到達目標				
素材の品質理解、品質管理活動、物流の品質管理などを学ぶことができる。消費者・生活者・販売員として消費社会の多種多様なトラブルを未然に防ぐ知識をもつことができるようになる。				
授業の方法				
実物資料で素材に触れ、判断力を養う。新聞記事等で今日のクレーム処理の事例を研究する。各回テーマが異なりレポートの提出がある。				
学習の成果				
適切な商品知識をもち、素材選びや品質管理ができる。ファッション販売業務ではクレーム等の相談にのることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	衣料素材の理解① 素材鑑別			
第2回目	衣料素材の理解② 表示			
第3回目	衣料品の理解 加工、改質加工、付加工			
第4回目	衣料品の理解 構成			
第5回目	衣料品のラベル・タグ表示			
第6回目	生活用品の品質と取り扱い、加工			

第7回目	消費者保護、行動と情報	
第8回目	企業の対応	
第9回目	消費者教育・商品テスト	
第10回目	環境・リサイクル	
第11回目	洗濯・クリーニングのマークと取り扱い	
第12回目	クリーニング事故、	
第13回目	最近の問題事例から 地域の「消費者センター」について	
第14回目	インターネットの落とし穴、契約トラブル	
第15回目	ライフプランの知識、ITの問題	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に集中し、教員の質問に答えられているか。自分の考えを述べられることができるかなど。
レポート	20%	内容にあった提出物で、期限内に提出されているか。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	60%	授業内容を理解し、設問に答えられているか。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
アパレル素材論①（文化出版局） 2010生活ハンドブック（第1学習者） 暮らしの豆知識2010（国民生活センター）		
履修上の心得・ルール		
日頃から、商品のラベルなどに関心を持ち収集しておく。提出物の期限に注意する。		